

社会教育課

1 基本方針

市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所で学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる地域の実現を目指して、学校教育をはじめとする教育委員会の各課及び市長部局との連携はもとより、地域で活動する市民、団体と協働して生涯学習の振興に取り組んでいきます。

特に地域社会の抱える課題が多様化、複雑化していることに鑑み、地域課題解決の担い手を育てるため、官民学が連携した社会教育を振興していきます。

2 基本施策

(1) 生涯学習の充実

ア 生涯学習推進大綱の改訂

平成20年4月に策定した生涯学習推進大綱は、平成29年度に当初設定した概ね10年の計画期間が満了することから、平成26年度まで進めてきた検証の結果を踏まえ、平成27年度に引き続き、生涯学習推進協議会等において改訂に向けた検討を行います。

イ しまだ楽習センターの運営

市民が、生涯を通して自由に学習機会を選択して学び、その成果が評価される場を提供するため、しまだ楽習センターにおいて市民と地域社会の要請に応じた学習講座を開催するとともに、学習成果の発表の場として「マナビィまつり」を開催し、学習意欲の高揚と楽習センターの利活用の向上を図ります。

また、民間が行うカルチャー事業との類似性を解消するため、文化課、図書館課等と連携して、歴史・文化など地域を理解する講座や健康増進など身近なテーマで生きがいを増進させる講座の開設に努めていきます。

ウ 東海道金谷宿大学の運営

金谷宿大学は、『教えたいたい人（教授）』と『学びたい人（学生）』の両者に活動の場を提供する生涯学習事業であり、平成28年度は97講座（教授69人）を開講する予定です。

また、新規の教授や学生の獲得、新規講座の開講、教授の高齢化における後継者育成といった課題を改善するため、開催場所を市全域に広げるとともに、受講申し込み方法を変更し学生等の負担を軽減することや開講時期を4月に早め年間最大24回の受講を可能とするなど運営の充実を図ります。

エ 公民館・公民館類似施設の講座等の開講

公民館3館及び公民館類似施設5館は、地域における生涯学習振興の拠点として地域住民の学習意欲を高める活動を推進するとともに、地域住民主体の自主事業を支援し、一層の利用者の増加を図ります。

平成27年度の大津農村環境改善センター大会議室の吊り天井改修工事に

引き続き、六合、初倉両公民館の多目的ホールの改修工事を実施します。

また、老朽化により修繕が必要な箇所については、計画的な予算執行により施設の維持管理を行っていきます。

オ 野外活動センター山の家の運営

平成18年度から「NPO法人いこいの広場」が、指定管理者として管理運営を行い、自主イベントの開催やスポーツと文化合宿のPRなど工夫をこらした運営を行っています。

敷地内にある山林ののり面落石防止対策として測量設計業務委託を実施し、平成29年度に予定する工事方法を検討、決定していきます。

カ 山村都市交流センターささまの運営

平成22年度から指定管理者である地元団体の「企業組合くれば」が管理運営を行っており、平成27年度は、廃校を活用した都市住民等との交流事業について5件の行政視察を受け入れるとともに、「企業組合くれば」が「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」の知事顕彰等を受けるなど、その活動が高く評価されています。

停電時の水確保対策や第一次避難所としての機能強化のため、非常用動力電源設置工事を計画しています。